令和４年３月１１日

関係各位

第４１回全国高等学校空手道選抜大会実行委員会

新型コロナウイルス感染症に伴う感染者及び濃厚接触者の取り扱いについて（変更）

この件に関しまして、以下の通知により変更をいたします。
なお、関係される皆様におかれましては、引き続き感染防止に努めていただけますようお願い申し上げます。

〇新型コロナウイルス感染所対策の基本的対処方針変更　　令和４年２月１０日付　厚生労働省
〇全国高等学校総合体育大会実施時における新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する
基本方針新旧対照表　　令和４年１月７日付　(公財)全国高等学校体育連盟

【厚生労労働省 website より抜粋】
オミクロン株の濃厚接触者の待機期間について、これまで得られた科学的見地に基づき、14 日から１０日に、さらに１０日から７日に短くするとともに、(中略)
加えて、常に接触のある家庭内で感染者の発症日又は感染対策を講じた日のいずれか遅い方を０日目として、待機期間を７日間（８日目解除）としている。

1　変更しないところ
①これまで通り、大会１４日前より健康チェックシート（様式１）を記録する。
②入場する日の遅くとも９０分前には、Google フォームにて入場のエントリーをする。
③代表者が健康チェックシート提出用（様式２）を毎日受付に提出する。
④選手監督等 ID カードをもつ者は、ID カードを着けて入場し、会場では常に携帯する。
⑤観客は、リストバンド（日替わり）を手首に着けて入場する。
⑥当日の体温が 37.5℃以上の場合、入場できない。

Google フォームによるエントリーシートは下記の URL を開くか、QR コードを読み取り入力後に送信してください。

https://forms.gle/Qx2Vg6QxpYR93qD16

このエントリーは、大会の安全管理を目的に行うものです。個人情報につきましては、大会終了の２週間後に消去いたします。

2　変更となるところ

（１）感染者発生時の対応

①大会開始前に感染者となり、療養解除とならない選手は出場を辞退する。

※症状がない選手は検査陽性日から７日経過する前に退院もしくは宿泊療養等を解除された場合であっても出場を辞退する。

※症状がある選手は症状が出た日から１０日間以上経過、かつ症状軽快から７２時間以上経過した場合に、当該校の残っている試合への復帰可否については、全国高体連空手道専門部及び実行委員会の判断とする。

※大会関係者全員の安全・安心の確保を最優先事項とするため、「医療機関等の指示」が示されるまでは、当該校は会場に入場できない。

※大会期間中に感染者が発生した当該選手は大会出場を辞退する。
なお、他の選手の対応については医療機関等の指示を遵守した上で参加校の責任において行うことを原則とするが、参加の可否については、全国高体連空手道専門部及び実行委員会の判断とする。

（２）濃厚接触者発生時の対応

①大会開始前７日間に発生して、濃厚接触者となった選手は出場を辞退する。他の選手については、医療機関等の指示に従い競技参加の可否等について、当該校の責任で判断する。

※発生から８日間以上経過した選手の当該校の残り試合への参加可否については全国高体連空手道専門部及び実行委員会の判断とする。

②大会期間中に濃厚接触者となった選手は出場を辞退する。他の選手については、医療機関等の指示に従い競技参加の可否等について、当該校の責任で判断する。

（３）体調不良者発生時の対応

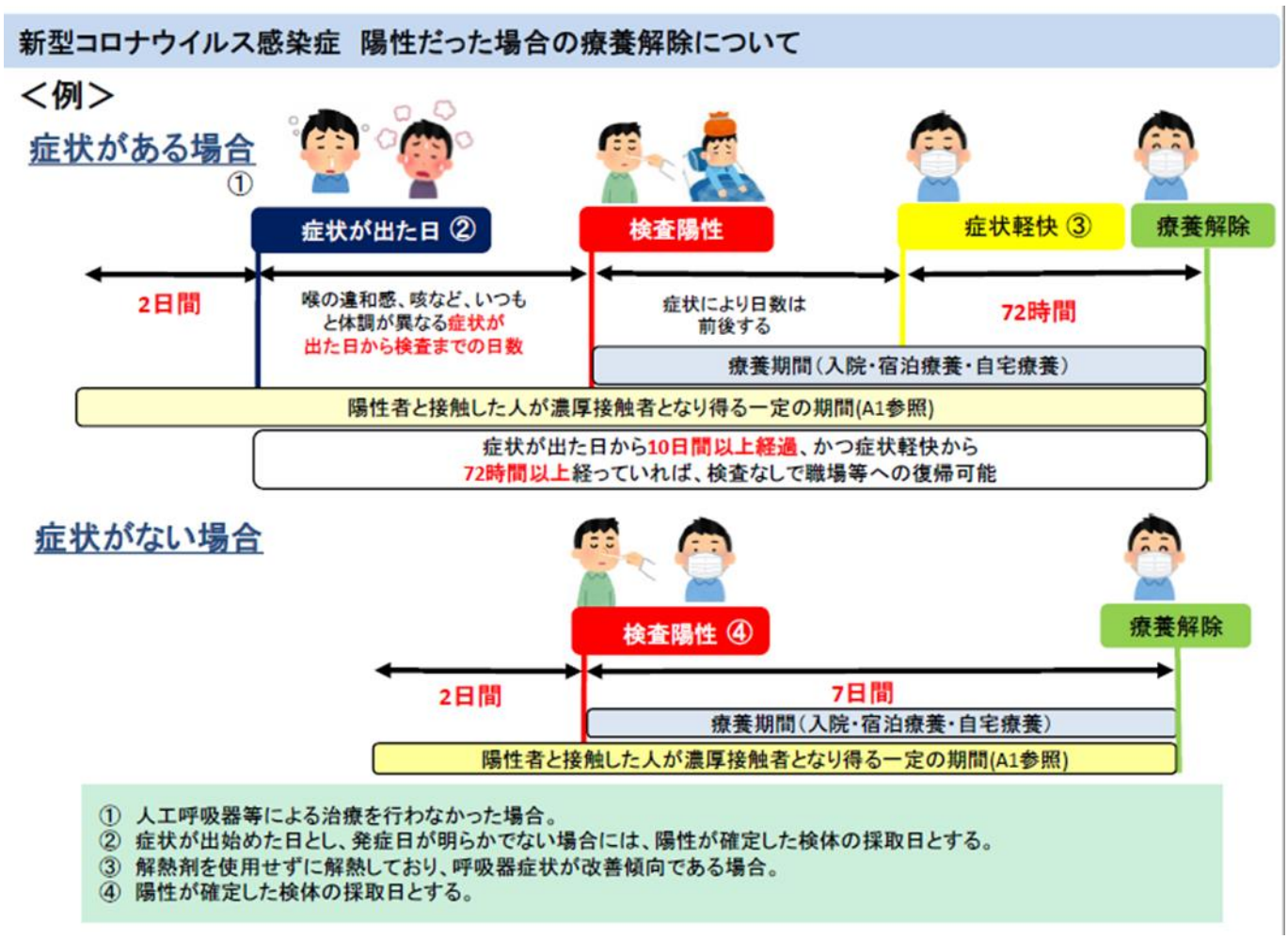
①大会開始前８日間及び大会期間中に体調不良者が発生した場合は、医療機関等の指示に従う。

3　その他

①競技終了後（８日間）に感染者が発生した場合は、当該校は保健機関の指示・要請等の内容を大会実行委員会に報告する。

②観客についても同様とする。

《参考資料》イラストによる解説（厚生労働省 website）



新型コロナウイルス感染症に係る濃厚接触者の自宅待機（健康観察）の期間について、これまで感染者との最終接触日から 10 日間としていたものが 7 日間に短縮されました。